

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（576）

2. 日時：令和5年10月16日 14時15分～14時20分

3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）

4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

天野安全管理調査官、宮本上席安全審査官、秋本主任安全審査官、

藤原主任安全審査官、田代審査チーム員

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（審査・運営管理担当）、他9名

原子力事業統括部 原子力設備グループリーダー※、他6名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料：

（1）泊発電所3号炉 残されている審査上の論点とその作業方針および作業スケジュールについて

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	はい原子力規制庁の宮本です。それでは泊3号機残された審査上の論点のその時その作業方針及び作業スケジュールについてのヒアリングを開始しますので、
0:00:11	資料の説明をお願いします。はい。北海道電力の金岡です。
0:00:16	プラント側のですね変更点を中心に説明させていただきたいと思えます。
0:00:22	ページ数で言いますと、35ページをご覧ください。
0:00:32	35ページなんですけれども論点表のですね、燃料という宗線の部分になります。作業状況のところになりますけれども、今日の時点ではですね、まだ更新ができておりませんが、
0:00:46	審査会、10月30日の審査会合の前にはですね、作業状況を最新のものに更新して、またヒアリングをですね1回追加で説明させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願ひいたします。
0:01:01	続きまして、
0:01:03	43ページをご覧ください。
0:01:10	43ページなんですけれども通しナンバーの21番、耐津波に関わる項目でございます。
0:01:17	10月30日の週に審査会合の星印ございましてそこに吹き出しを追加してございます。
0:01:25	こちら入力津波の設定に関わる場所ですけれども通しナンバーの7番、基準津波の組み合わせの項目と連動しておりますので、そちら通しナンバー7番がですね、
0:01:38	水加古側のスケジュールについては今後検討となっておりますのでこちらも連動してですね、スケジュールは検討中というような吹き出しを追記してございます。
0:01:50	こちらについては今後検討いたしまして、江藤、10月31日の審査会合ではまだ等ご説明できないんですけれどもその次の審査会合ではですね、見直したスケジュールをお示ししたいと考えてございます。
0:02:06	同じくこのページなんですけれども、耐津波に関わる取水性の影響評価等、こちらの項目で、審査進捗を踏まえまして、
0:02:16	三角印になりますが資料提出時期を3週間見直してございます。
0:02:22	審査会合時期は見直してございません。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:25	続きまして 44 ページをご覧ください。
0:02:31	上の方に衛藤アクセスルートの項目がございます。こちらですけれども、
0:02:37	審査会合時期がですねふくそうしておりましたので、平準化するということで、こちらの項目は 3 週間見直してございます。
0:02:47	あと下の方ですけれども、
0:02:49	BSバックフィットに関わる審査会合を 10 月 30 日の週に一つ星印追記してございます。
0:02:57	こちらは共用取り止めの説明ということで吹き出しでもその旨を追記してございます。
0:03:04	あとこの 10 月 30 日の週に三角印の資料提出、これは一括提出になりますけれども、10 月末にも ADS バックフィットの資料一括提出をさせていただくということで、
0:03:16	今回スケジュールを追記してございます。主な変更点の説明は以上となります。
0:03:22	はい原子炉規制庁宮ですありがとうございます。何か質問等あればお願いします。
0:03:29	ないですか。わかりました。特にすぐ質問等ありませんのでこれでヒアリングの方を終了したいと思います。ありましょう。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。